



2019年6月7日発行

2019年6月号 (通算225号)

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102  
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

## 【2018～2019主題】

国際会長	ムン・サン・ボン	「Yes, We Can Change!」
アジア太平洋地域会長	田中 博之	「Action!」
東日本区理事	宮内 友弥	「為せば、成る」
あずさ部長	廣瀬 健	「未来はそれに備える人のものである」
東京武蔵野多摩会長	山口 直樹	「地域に根差した活動を! 理事と共に・YMCAと共に」

## 【クラブ役員】

会長	山口直樹
副会長	大輪匡史
書記	麻生由美子
	小林文彦
会計	鈴木 誠

**I B C** Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club (韓国)  
**D B C** 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2019年  
6月の聖句

「聖霊を受けなさい。誰の罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。誰の罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」 ヨハネによる福音書第20章22～23節

## ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利を伴う

## 五つの誓い

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

## ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
- 2.ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
- 3.地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
- 4.宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
- 5.健全な交友関係を作り出す
- 6.この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

## 6月例会の予定

強調月間：評価

日時：6月12日(水) 19時～20時30分

場所：東京YMCA西東京コミュニティーセンター

司会：山口・大輪 受付：麻生

ドライバー：野尻 記録：小林

<プログラム>

\*開会点鐘 (会長)

\*ワイズソング

\*食 事

\*新旧役員引き継ぎ

新年度の活動などについて

\*連絡・報告・にこにこ

\*今月のハッピーバースデー

板村さん 6.1 渡辺さん 6.23

\*閉会点鐘

## 5月例会報告

在籍者	12名
出席者	10名
メーキャップ	0名
出席率	83.3%
ゲスト(リーダー)	0名
ビジター	0名
メネット・コメット	0名
にこにこ	0円

## 会長としての1年間の雑感

山口 直樹

理事出身クラブの会長としてほぼ最終コーナーに差し掛かってきた。今年度の東京武蔵野多摩クラブの会長テーマは「地域に根差した活動を! 理事と共に・YMCAと共に」。理事主題の「為せば、成る」「ワイズが何かをしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう。」の副題を頭に置きながら、がむしゃらに走ってきた。今の感想は…、ただ走ってきただけであったかな。

クラブに関しては、会長とは名ばかりでクラブ三役及びメンバーにおんぶに抱っこ。甘えて過ごした1年間であったと思う。理事のキャビネットとして目の前の事を兎も角こなしていくことに精一杯であった。このブリテンの原稿も、催促されるまで全く忘れており、慌てて書いている始末。

その中で、クラブのメンバーの温かさに居心地の良さもたくさん感じている私がいる。

理事キャビネット(本当は理事事務局をさせていただくつもりが、定款の改定で理事事務局がなくなってしまい、肩書は副書記)として、手探りですべてをこなして(こなしていないことのほうが多い)来た。その中で感じたことは、ワイズの無駄とも思える様々なものに、すべてそこに関わったワイズメンの熱い思いがこもっていることだ。その熱い思いにこたえているワイズのいかに多いことか。すごい。

もう一方で、副書記として皆さんにつながりができたことも大いなる感謝だ。《ちょっと一言。副書記は座りが悪く、周りの皆さんもそうだったと思う。今後、機会があれば御一考を。》そして、この1年間で本当に多くのワイズメンやワイズメネットとのかかわりができたことには大感謝。それぞれのワイズに対する思いは表現が違っていても、そこに向かう心は共通のものが感じられた。形ではないすごさを感じた。

そして、そんな素晴らしいワイズが厳しい状況に至っている今、それを今後どの方向に向けられるかだと思う。原点復帰か断捨離か、根本的な改革か。私はというと、全くこれからのことは考えられず、ひたすら任期の終わることを待つ身で、残りの時間を過ごしていくことを考えている。

5月18日に宇都宮クラブ40周年記念式典に参加した。宇都宮は私が20年ほど前に老人ホームで仕事をしたときワイズ(宇都宮東と宇都宮)に大変お世話になった。その温かさが今私をワイズにつないでいる原点である。その温かさを感じさせてもらった時間であった。ワイズのすごさをまた、肌で感じた。

5月第一例会 今後の武蔵野多摩の活動について

麻生 由美子

開催日：2019年5月8日（水）19:00～21:00

会場：YMCA西東京コミュニティーセンター

参加者：山口、宮内、板村、麻生、伊佐、野尻、出沼、渡辺、大輪、小林、（敬称略）

先日実施したアンケートをもとに、東京武蔵野多摩クラブの現状と今後の活動について第2回目の話し合いを実施。話し合いは次期会長の大輪氏が、東京武蔵野多摩クラブで今後こんな事をやりたい、という話題を中心に進めた。その中で出て来たのが、地域社会とより接点を深め一緒になって奉仕活動を行いたいという点で、現在も「さくらフェスティバル」への参加を通して地域とのコミュニケーションを取りつつあるが、更に現在地域で活動している団体や個人の方への卓話の依頼や、その活動に参加させていただくなど、そこからの学びをクラブの活動に結びつける。次は奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。現在も秋祭り、クリスマス会等々YMCAとワイズと共に企画し共に活動している現実であるが、これをもう少し地域に発展出来るように工夫してみる。現状は東日本区運営のため人手不足ではあるが、今現在出来る事、また近隣のクラブの手を借りて出来る事、等々模索して未来の子供達が幸せを感じて生きていけるような社会と居場所を作っていけるような活動を継続していきたい。など、参加者全員が熱く語り合った。具体的なプランは6月の第一例会などで継続して決めていく事にした。

第3回あずさ部評議会

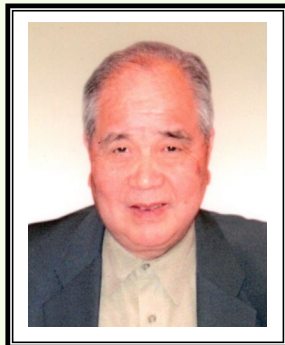
小林 文彦



あずさ部の第3回評議会が5月11日（土）、長野市内「勤労者女性会館しなのき」で長野クラブのホストで開催された。前回は荒天のため中止となったが、今回は一転して夏を思わせるほどの天候となり、新緑が目まぶしく映り清々しい気分の中、73人の出席で評議会が開催された。事前に提案されていた議案は「CS助成金の配分」や「部役員人事」「予算」など1号から7号までの7議案で、すべての議案が承認された。その結果、次期部長には松本クラブの赤羽会長が就任することが確定した。第7号議案においては、輪番で担当する

計 報

東京武蔵野多摩クラブメンバー  
清水 彰直（しみず あきなお）  
さんが去る2019年2月18日ご逝去されました。享年84  
清水さんは当クラブの前身にあたる、1983年3月発足の東京多摩クラブのチャーターメンバー。クラブ発足以前より、立川YMCAのシャベルズ・いづみの会へご家族で参加活動されており、ワイズ発足にあたりご夫婦で尽力いただきました。



日本区時代は、北東部長を歴任。数年前より、例会参加途中に転倒や、骨折するなど体調不良に悩まされながらも、奥様のご苦勞と助けに支えられ出席第一を旨とした信念で例会に出席されていました。ご冥府をお祈り申し上げます。

あずさ部部長の職責を、隔年で東日本区理事の輩出と言う当クラブの事情を勘案し、一度回避いただけるという議案を承認いただきました。評議会終了後懇親会までの時間を利用して、長野クラブメンバーであり善光寺玄証院住職を務める福島氏の引率で善光寺見学をさせていただいた。福島氏の軽妙洒落な説明で歴史的な背景や道祖神の意味など、日頃なかなか知る事の出来ない興味深いお話し聞かせていただいた。善光寺見学の後、日頃長野クラブが例会会場として利用している「レストランやま」で親睦会が開かれ、所在が広域に渡り一堂会する機会が少ないあずさ部にとって格好の交流の機会となった。



上田聖ミカエル及諸天使教会訪問記

小林 文彦



あずさ部評議会の翌日、当クラブメンバーの江夏一彰さんが司祭を務める、上田聖ミカエル及諸天使教会を板村さん、麻生さん、大輪さん、小林の4名で訪問しました。教会までは駅から1kmくらいの距離でした。現在の聖堂は1932年に木曾檜を使い

建てられ、世界でも珍しい神社仏閣様式で80年を超える歴史を誇る。我々は江夏さんが司祭を務める日曜礼拝に参列させていただきました。建築様式の影響もあるのか、厳かななかにもほっとするような温かい空気が流れていて、併設の保育園の園児も礼拝に訪れ、礼拝後に江夏さんに纏わりつくようにしていたのが印象的でした。江夏さんは司祭、園長、医師と3役をこなし、例会等クラブへの常時参加の難しさはあるものの、今後力を入れていきたい地元市民参加型の拡大版「健康増進カフェ」の開催協力をお願いは快諾いただき、夏から秋の開催目指し調整を進めます。

<西東京YMCA便り>

出沼 一弥

▼5月25日 第17回会員大会

東京YMCA会員、職員、ボランティアリーダーが山手コミュニティーセンターに集まり、2018年度の活動報告、会員部運営委員推挙等が行われました。仲田達男氏と徳久俊彦氏が名誉会員に推挙され、「ボランティア オブ ザ イヤー」として「libyチャリティーコンサート実行委員会」が表彰を受け、西東京コミュニティーセンターのリーダーや今年の春卒業したリーダーも表彰されました。

▼今後の予定

- 6月5日（水）YMCAサマープログラム会員受付（WEBのみ）
- 6月7日（金）YMCAサマープログラム一般受付（WEBのみ）
- 6月29日（土）YMCA保育園ねがい開所式